

呉市企業の今期の景況は、駆け込み需要がピークを迎え4期連続改善
- 増税後の受注・消費の落ち込みが懸念材料となり、先行きの不安大きく -

- ・ 調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・ 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・ 平成26年3月を前年同月と比較
- ・ 平成26年4月～6月の先行き見通しを平成26年3月と比較
- ・ 調査時期 3月中・下旬
- ・ 調査対象 呉市内の業種別主力企業100社 (回答81社、回収率81%)

【D I 方式について】
D I (ディフュージョン・インデックス) は、各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす。

$D I = (\text{増加・好転等「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化等「悪い」の回答割合})$

・ 3月の景況を見ると、下の表の通り、総合(全業種)D I (良い-悪い)は2.3→13.6と、全体では前期に比べ、+11.3と大きく上昇。
業種別では、製造業は、約6.0割の企業が横ばいの回答で、D Iは12.0→21.7と大幅に回復。
非製造業は、約6.8割の企業が横ばいの回答で、D Iは△11.4→2.8と上昇した。

・ 4～6月の先行き見通しでは、総合(全業種)D Iは△1.2→△14.8と、前回予測から△13.6と大幅に下降の推移。
業種別では、製造業は、D Iは4.0→△6.5と下降する見通し。
非製造業は、D Iは△8.5→△25.7と大きく下降する見通し。

総合(全業種)では、2.3→13.6と、呉市の景況は前期に比べ、+11.3と大幅に上昇傾向。来期は△1.2→△14.8と、前回予測から下降する見通し。
業種別概況は、製造業は4期連続上昇で、大幅に回復傾向。非製造業も今期上昇でプラスに転じる。3月調査による4～6月先行き見通しDI数値に比べて、製造業・非製造業共に悪化の見通し。特に、非製造業は大きく悪化する見通し。
呉市の景況は、製造業は引き続き自動車関連を中心に回復傾向となっている。また、駆け込み需要のピークを迎え受注や売上げが増加し業績改善が進む。非製造業も増税前の駆け込み需要により、消費需要・売上げ等増加するも、原材料価格の上昇など懸念材料が見られた。
雇用状況(採用・賃上げ)の動向については、「賃上げ早々に決定」「賃上げ予定」など賃上げに前向きな意見が聞かれるも、「人件費が負担になる」「賃上げは見送り」など一部賃上げに厳しい状況が見受けられた。採用については、「採用拡大予定」「人手が不足」など、採用に積極的な企業があるも「募集をしても集まらない」「人員確保が困難」など人材確保が厳しい状況となっている。特に建設業は、若者の業界離れが懸念となっており「採用活動は大変厳しい」といった声も見受けられた。
来期の景況については、消費税増税後の消費の落ち込みが懸念材料となり、先行きに対する不安が大きく厳しい見通しとなっている。

業種別景況D I

	25年 12月 実績	26年 3月 実績	今 期			12月調 1～3月 見通し	3月調 4～6月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合(全業種)	2.3	13.6	24.7	64.2	11.1	△1.2	△14.8	7.4	70.4	22.2
製造業	12.0	21.7	30.4	60.9	8.7	4.0	△6.5	10.9	71.7	17.4
非製造業	△11.4	2.8	17.1	68.6	14.3	△8.5	△25.7	2.9	68.5	28.6
建設業	△37.5	△12.5	0.0	87.5	12.5	△12.5	△25.0	0.0	75.0	25.0
卸売業	0.0	7.1	21.4	64.3	14.3	0.0	△42.9	0.0	57.1	42.9
小売業	△40.0	16.6	33.3	50.0	16.7	△40.0	0.0	16.7	66.6	16.7
サービス業	△14.3	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	△14.3	0.0	85.7	14.3

業種DIの推移

(H24.3～H26.3)

